



教育目標

- 知** 自ら学ぶ意欲を高め、よく考える人となる
- 情** 思いやりをもち、共に高め合う人となる
- 意** 強じんな意志をもち、最後までやり抜く人となる
- 体** 勤労を尊び、たくましい心身を鍛える人となる

本年度の重点目標
自ら考え 共に学び合い 協働する生徒の育成
 ～生徒の成長を 保護者・地域・教職員で 共に喜び合える教育活動の充実を目指して～
 キーワード 「認める」「ほめる」「生かす」

生徒の成長を喜びに 校長 田谷典久

雪もちらつき、本格的に冬を感じさせる季節となってきました。先日、自分の習慣としている朝の校門での挨拶を行っていたところ、3年生の生徒から、「校長先生は、手袋をしなくて大丈夫ですか。寒くないですか。」と声をかけられました。さりげない一言ですが、相手のことを思いやる生徒の言葉に大変感動しました。改めて、本校の生徒の成長を肌で感じているところです。

さて、2学期もあとわずかとなりましたが、外部の方々より、本校の生徒に対する様々な「声」が届いています。以下、その一部を紹介します。

- (3年生修学旅行にて)
 「本当に、感じのいい生徒さんたちですね。挨拶はしっかりしているし、食事も沢山食べるのを見ていて、久しぶりに気持ち良くなりました。」
 (ホテルの方々より)
- (留萌教育局学校訪問にて)
 「全学年授業の雰囲気が大変良い。お互いに助け合おうとする場面が多く見られ、支持的風土がしっかり根付いている。また、2年生の授業において、ICT機器を活用する能力は管内でもトップクラスだと思う。」
 (留萌教育局 青木指導監より)
- (小中高英語研究大会にて)
 「英語の授業の中で、1年生の会話能力が大変高く、同じレベルを自分の学校で実現するのは難しいと感じました。」
 (授業を参観した他校の先生より)

以上のように、校内だけでなく外部の方々からも、生徒の成長を高く評価する声が多く上がっています。学校としても、これらの声を励みにしながら、さらに教育活動の充実を目指していきたいと決意を新たにしているところです。

2学期も残りわずかですが、今年度推進キーワード「認める」「ほめる」「生かす」のもと、生徒の頑張りを認め、ほめて、そして、生徒のもっている良さを生かしながら教職員一同全力でサポートにあたっていきます。地域の「宝」である生徒の成長は、保護者、地域の方々、教職員共通の喜びでもあります。今後とも、保護者・地域の皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

11/1～4 3年修学旅行

11/1～4、コロナ禍により延期しておりました「修学旅行」を実施しました。恵庭、登別、函館、白老方面の4日間の旅行で、3年生は専門学校体験、自主研修等を行い、大いに学び、仲間との思い出を深めました。



恵庭専門学校体験

函館自主研修

伊達時代村、ウポポイ